

道内のヤングケアラーに関する令和4年度実態調査（案）

1 事業名

令和4年度ヤングケアラー実態調査事業

2 調査の目的

(1) 小学生

前回の道の調査において、ケアを始めた年齢が高学年から高い割合であったこと、中学生と高校生でケアする対象が異なっていたことなどから、小学生におけるケアの実態を把握し、様々な年代でのケアの傾向等を分析し、早期発見、支援施策に繋げる。

(2) 大学生

前回の道の調査において中高生のヤングケアラーは「進学先・就職先を自宅から通えるところを選択しようとする」という割合が高かったことから、大学生でケアをしている方が就職に与える影響や、過去にヤングケアラーであった学生から進学に当たり受けたサポートや進学に与えた影響などを把握し、今後の支援施策に繋げる。

(3) 小学校

前回の道の調査に引き続き、学校での体制状況、「ヤングケアラー」の認知度及び対応、学校が把握しているヤングケアラーの有無を把握し、学校内でのヤングケアラーの実態を調査する。

3 調査の概要

道内の市町村立小学校（札幌市を除く。）に通う小学5年生、小学6年生並びに道内大学生全員及び市町村立小学校を対象とする Web アンケート調査を実施する。

区 分	内 容
調査対象	①市町村立小学校（5年生）約 25,000 人 ②市町村立小学校（6年生）約 25,000 人 ③道 内 大 学（全 員）約 90,000 人 ④市町村立小学校 約 779 校
実査期間	6月中旬～7月下旬のうち2週間程度（予定）
回答形式	PC、タブレット、スマートフォンの通信端末を用いて Web 上で回答する
調査項目	別添調査票のとおり 国の実態調査及び道の中高校生実態調査項目を参考

4 業務スケジュール

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ①学校向け調査依頼及び調査概要等の送付 | 令和4年6月上旬～中旬頃（調査開始の1週間前程度） |
| ②アンケート調査期間 | 令和4年6月中旬～7月下旬のうち2週間程度 |
| ③アンケート結果集計作業等 | 令和4年7月下旬～8月下旬 |
| ④調査結果公表 | 令和4年9月上旬（予定） |